

新生会

田村 孝(代表) 瀬川健則 大和田順一
松浦博幸 工藤直道 工藤 剛
渡辺義光 大森力男 立花安文

地域の人が集まる活動拠点

新生会は2月6日、山形県東根市で、インターネット議会中継の取り組みと、保健福祉と子育て支援の複合施設「さくらんぼタントクルセンター」について視察研修を行いました。

◎インターネット議会中継の取り組み

開かれた議会、市民に分かりやすい議会を目指してインターネット議会中継を昨年の12月定例会から導入しました。導入前の一般質問者数は平均4人でしたが、導入後は約2倍に増えており、議会の活性化にもつながっています。



山形県東根市議会議場(2月6日)

◎さくらんぼタントクルセンター

東根市は、山形空港や山形新幹線など交通網に恵まれた地の利を生かし、工業団地では51社・約7000人が働き、山形県内では数少ない人口が増加している自治体です。

子育て世代に配慮した「さくらんぼタントクルセンター」は、保健センターや休日診療所、保育所(定員150人)、地域子育て支援センター、子どもの遊びセンター、大ホール(502席)などが一緒に入居する複合施設です。特に子育て支援に力を入れて整備した遊びセンターは、屋内に大型遊具を設置した無料プレイホールで、土・日の入場者数は1日当たり約400人、これまでの最高入場者数が1日当たり1800人と聞き、驚きました。大ホールの1階座席は、可動式で、座席は舞台下と舞台正面の2階席下に収納されていました。この座席は、イベント時だけ出すそう、普段は体育施設として活用することによって、ホールの利用率を高めているそうです。今後、当市が整備を進める予定である多目的文化交流施設の参考になる施設でした。

八起会

高橋 守(代表) 小野寺昭一
小笠原壽男 三浦 侃

官民一体の体験型観光振興

八起会は2月6日から8日まで、北海道石狩市で「環境保護条例の先進的取り組み事例」と「教育旅行の状況調査、誘致活動」、長野県飯田市で「体験学習、教育旅行などの先進地視察」研修を行いました。

◎環境保護条例の先進的取り組み事例

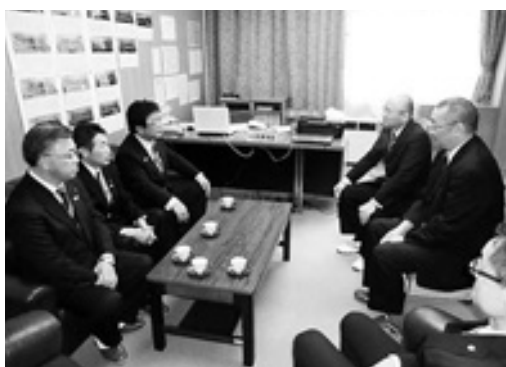
石狩市は、平成12年に「市海浜植物等保護条例」を制定し、地域の海浜植物が乱獲されることを規制するため、保護地区を定めています。同条例では、立ち入り制限や監視員を設置し、罰則も規定しています。この条例により、自然保護の啓発に一定の成果があったということで、当市の環境保全を考える上での参考になると思います。

◎教育旅行の状況調査、誘致活動

石狩市の修学旅行計画の状況調査のため石狩市内の中学校4校を訪問し、八幡平市の体験学習の取り組み状況を説明し、修学旅行の計画に加えていただくよう要請しました。各学校長からは、石狩市の修学旅行の実情や交通手段の課題などについて説明を受け、交通手段確保の難しさを改めて知ることができました。

◎体験学習、教育旅行などの取り組み

飯田市の滞在型グリーンツーリズムは、国内の先進地といわれており、農業体験などの受け入れニーズに対応するために、(株)南信州観光公社を設立しています。同公社の設立には、飯田市をはじめ周辺の自治体や関係機関が参加し、充実した体験プログラムやインストラクターの確保、支援体制など一体的な取り組みが行われています。受け入れの現状や雇用確保につながっているかなどを研修しました。



石狩市役所(2月6日)

無会派

米田定男(日本共産党)
高橋悦郎(日本共産党)

2つの大きな子育て支援策

米田定男、高橋悦郎の日本共産党市議2人は2月7日、埼玉県滑川町を視察しました。視察の目的は、全国的にも優れた「幼稚園、保育園から中学生までの給食費無料化」と「高校生までの医療費無料化」施策について学ぶことでした。

◎財政力指数0.9以上で人口増加続く
驚いたのは、町の財政基盤の強さです。平成21年度決算では、歳入総額81億2000万円のうち、地方交付税はわずか1億2000万円でした。また、人口増加が続いており、人口増加率は県内2位、出生率は県内1位で、22年には新しい小



埼玉県滑川町役場(2月7日)

学校も開校しました。これらの背景が子育て支援策を充実させる一つの要素となったのは確かです。

◎明確な位置付けと住民の立場に立った施策の運用

給食費の無料化は「教育費に対する経済的支援で、町が取り組むことができる最も効果的な支援策」として位置付けられています。そして、より多くの子育て家庭が平等・公平に支援を受けられるよう、幼稚園・保育園まで範囲を設定しています。また、医療費無料化については、小学校卒業まで対象だったものを20年に中学校卒業、23年には高校生まで拡大しました。

その大きな目的のひとつが、若い世代の定住化の促進です。実際の運用でも、医療費では窓口負担を廃止し、その対象を隣の熊谷市の医療機関まで拡大しています。また、これらの施策については、たとえば保護者が町税などの滞納があっても、全ての子どもを対象にしています。これらの施策を全て当市に取り入れることは難しいですが、大いに参考にすべき事例です。

無会派

北口和男(公明党)

議会活動の在り方を考える

北口和男議員(公明党)は2月4、5の両日、「多摩研 第10回 議員の学校」～新年度予算の動きと地方自治体の政策課題～(NPO法人多摩住民自治研究所主催)を受講しました。この研修には全国から約80人が参加しました。

◎第1講「2012年度の国家予算と地方財政の焦点」

2012年度の国の予算は国債が3年連続で税収を上回っている事態が続いています。東日本大震災に係る復興復旧の特別会計でも約3兆7800億円が計上されていることから、国全体で復興を支



多摩住民自治研究所(2月5日)

えることが重要であると感じることもに、厳しい国家財政は地方にも影響を与えるものと感じました。

◎第2講「税、社会保障一体改革をどう考えるか」

平成12年から17年まで国民所得は増えているにもかかわらず、賃金は下がり、不況でも企業の利益が増大する構造が形成されました。日本の社会保障は伸びているように見えますが、年金と医療が中心でそれ以外は少ない状況。国際的に見て比較しても1人当たりの社会支出は、世界の模範とされているスウェーデンを100とした場合、日本は57までしかないということでした。

◎第3講「自治体財政の現実と自治体・議会の政策活動の発展」

市町村合併により、自治体規模が大きくなる一方で、都市化の進行により人口が集中しています。議員一人一人が多く住民の声に耳を傾け、議会活動に生かすよう努めることが必要と感じました。各講義とも、国内の指標や外国との比較がなされ、日本の方向性、特に地方のあり方などを知ることができました。

議会の動き(1月18日から4月24日まで)

1月

- ▶18日 議会運営委員会、市議会第1回臨時会、政務調査会臨時総会
- ▶19日 県市議会議長会臨時総会(～20日)
- ▶23日 議会広報特別委員会
- ▶31日 議会運営委員会

2月

- ▶1日 東日本大震災支援特別委員会産業建設小委員会、全国市議会議長会基地協議会第75回総会
- ▶2日 広域行政圏市議会協議会第43回総会
- ▶3日 盛岡北部行政事務組合議会議員全員協議会、全国高速自動車道市議会協議会役員選考会、正副会長・監事・相談役会議
- ▶4日 無会派(北口和男議員)研修(～5日)
- ▶6日 新生会会派研修(～7日)
八起会会派研修(～8日)
- ▶7日 無会派(米田定男議員、高橋悦郎議員)研修
- ▶9日 議会全員協議会、東日本大震災支援特別委員会、東日本大震災支援特別委員会産業建設小委員会、政務調査会臨時総会、栃木県真岡市議会会派「夢ネット21」行政視察来庁

- ▶16日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会2月定例会、盛岡地区広域消防組合議会委員消防行政視察研修(～18日)
- ▶17日 議会運営委員会、盛岡北部行政事務組合議会第1回定例会
- ▶20日 全国高速自動車道市議会協議会第2回理事会、第38回定期総会
- ▶22日 盛岡地区広域消防組合議会定例会2月
- ▶23日 市議会第1回定例会(～3月23日)

3月

- ▶1日 新生会会派研修
- ▶2日 議会全員協議会、議会運営委員会
- ▶7日 議会広報特別委員会
- ▶8日 議会全員協議会
- ▶9日 総務常任委員会、産業建設常任委員会
- ▶12日 予算特別委員会(～14、19、21日)
- ▶19日 教育民生常任委員会
- ▶21日 議会運営委員会、教育民生常任委員会
- ▶23日 議員全員協議会
- ▶30日 議会広報特別委員会

4月

- ▶10日 議会運営委員会
- ▶13日 県市議会議長会定期総会(～14日)
- ▶19日 東北市議会議長会定期総会(～20日)
- ▶24日 議会広報特別委員会

クイズ



問 ○の中には、どんな数字(文字)が入るでしょう？

- ①3月定例会で、採決結果の賛否の分かれた議案数は○議案
- ②新生会が視察研修で訪れた山形県東根市にある保健福祉と子育て支援の複合施設は「○○○○○タントクルセンター」

応募方法

はがきかFAX、Eメールに「答え、住所、氏名(ふりがな)、年齢、議会だよりを読んだご感想、市議会へのご意見・ご要望など」を記入の上、議会事務局まで応募ください。正解者の中から抽選で5人に1,000円分の「八幡平市共通商品券」をお贈りします。※お寄せいただいた個人情報は、このクイズに関わるもののみに使用します。

あて先

〒028-7192(住所不要) 八幡平市議会事務局 議会だより係
FAX: 0195-76-2980
Eメール: gikai@city.hachimantai.lg.jp

締切日

平成24年6月8日(金)

前回(No26)の正解

①11 ②議会基本
応募者 25人 正解者19人
当選者(敬称略) 佐々木瞳(大更)、田村寿子(大更)、田村賀津子(野駄)、工藤キミ(田頭)、佐々木真由美(田頭)

6月定例会の日程(予定)

平成24年市議会第2回定例会(6月定例会)は、次のとおり開催されます。

■会期〔予定〕 6月15日(金)から22日(金)まで(土・日曜日は議案思考のため休会となります)

詳しい日程が決まり次第、市議会ホームページ(八幡平市ホームページ内)に掲載しますので、ご覧ください。

■場所 市議会議場(市役所本庁舎3階)
※傍聴を希望する人は、議会開会日当日、議会事務局までおいでください。

詳しくは、議会事務局(☎76-2111、内線1322)まで問い合わせください。

◎議会事務局人事異動(4月1日付)

- ▼事務局長 鈴木伸也(前松尾総合支所長兼地域振興課長)
- ▼主事 北口拓也(前総務課主事)
- ▼松尾総合支所長兼地域振興課長 高橋三夫(前議会事務局長)
- ▼市長公室副主幹兼秘書広報係長 渡辺信(前議会事務局副主幹兼庶務係長)